

無垢材の一点もの家具

株式会社 秋元木工



屋久杉材は木目が密で形もユニーク。お客の人気も高い

貴重な国産の木材から
味わいを引きだす職人

千葉県君津市、自然豊かな片倉ダムのほとりにある株式会社秋元木工。屋久杉をはじめとした国産

の無垢材を使用し、素材の色、形を存分に生かした家具を製作している。工房に併設された店内は、外観から予想できないほど広い。テーブルや椅子だけでなく、屋久杉を使用した雑貨や置物なども並んでいる。

同社が扱っている木材は25種類以上。屋久杉、ナラ、タモ、桜などのほか、ホウ、栓、神代ニレといった普段聞き慣れない珍しい木材も多い。

「種類によって特性や色合いもさまざまですし、自然木のため、同じ形のもは一つとしてありません。使ううちに味が出て、愛着もわいてきますよ」と話すのは、代表の秋元和夫さん。

同社は1946年、和夫さんの父が木更津に創業。2代目の和夫さんは、幼い頃より木材に触れて育ち、15歳から本格的に木工に携わるようになった。同



木の香りに満ちた店内には、1,000点以上の商品が並び

社を継いだ後君津に移転し、職人歴48年となったいまでも毎日が修業の日々だという。

「創業当初は受注生産が主体でしたが、自然木のぬくもりをより多くの方に知っていただきたいと思い、製作した家具の展示、販売なども始めました」

和夫さんは自ら北海道や屋久

作業工程



①原木の仕入れ…各地の公売所や銘木市場などに参加。大きさや太さを見て、用途を決める



②乾燥…仕入れた原木は現地で切ってから工房に搬入し、自然乾燥させる。大きなものは10年以上費やすこともある



③木取り…つくるものの用途やサイズに近づけるため、材木を大きめに成形。木の自然な形を残すように切りだす

一つひとつの工程に気を配り 世代を超えても使えるものづくりを目指す



「仕入れた材料は水分が多く含まれているので、すぐに使う

**丁寧な仕上げで
高い評価と信頼を得る**

島の木材市場に出かけ、原木の丸太を仕入れている。以前は主に材木屋から仕入れていたが、よいものをより安く提供したいという思いから7年ほど前に始めたそうだ。結果、質や大きさをそのままに、相場より安い価格で販売が可能となった。



幼稚園に通う頃から手伝いをしていた長女の涼子さん。機械の操作も手慣れたもの

ことはできません。年月をかけてゆっくり乾燥させ、木材を落ち着かせる。そうすると、仕上げた後のゆがみやねじれが少なくなります」

同社では風通しのよい屋外で木材を自然乾燥させている。例えばテーブルの天板は、乾燥期間が平均2〜3年のところ、薄いものでも5〜6年、大きなものは7〜10年を費やす。製品となった後の狂いも圧倒的に少ないのが特長だ。「2代3代と長く使ってもらいたいからこそ」と、手間を惜しまない和夫さん。実際、お客からの評価も高い。最近では口コミで噂を聞いた若い年代や、遠方からのお客も増えてきたという。

注文に対し柔軟に 대응することができるとも同社の魅力。一般のお客以外からも、博物館など

企業DATA

- 事業所名: 秋元木工
- 所在地: 〒292-0526
千葉県君津市笹1782-10
- TEL: 0439-39-3338
- FAX: 0439-39-3337
- 創業: 1946年5月
- 代表者: 秋元和夫
- 従業員数: 4名
- 事業内容: 家具の受注生産および関連商品の製造・販売など
- URL: <http://www.akimotomokko.com/>
- E-Mail: info@akimotomokko.com



から所蔵品の修理を受けており、厚い信頼が寄せられている。

**ものづくりを通して
木のよさを伝えたい**

現在、2人の娘さんが後継者として修業を積んでいる。それまでは別の仕事に就いていたが、2年前から本格的に木工を始めたといい、和夫さんに代わり製作を担当する傍ら、観光客に手づくり木工教室を開いたり、箸の工作キットを販売したりと精力的で、周りの期待も高い。

「当社の将来は、娘2人それぞれが発想に委ねようと考えています。お客さまに自然木のよさを伝えられるようなものづくりをしてほしいですね」と、和夫さんは語る。2人はその想いを受け継ぎ、同社を支えていくに違いない。



③塗装…全てのパーツをつくり終えた後、塗装する。木そのものの色味を生かすため、無色の塗料で仕上げる



④足の製作…足となる木材同士を、それぞれ凹凸に加工して組木にする。釘金物をいっさい使用していないため、錆の心配がない



⑤鉋(かん)がけ…木取りした木板に鉋をかけ、表面全体を滑らかにする。鉋は通常より持ち手部分が長いものを使用。写真は次女里沙子さん